

1 基本的な考え方

○新型コロナウイルス感染症拡大による市税等の歳入の減少をはじめ、感染拡大防止対策や市民生活の支援などの歳出の増加が見込まれ、本市の財政運営は今後一層厳しくなる。
 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立に向け、事業の実施手法等を見直す。

2 今年度のポイント

(1) コロナ対応を踏まえゼロベースで点検

- 上記「基本的な考え方」を踏まえ、事業目的を改めて問い直したうえで、事業の廃止や休止、規模の縮小を含めたコスト縮減策を検討
- 継続して実施する必要がある場合は、事業の効果的・効率的な実施に向けて改善

(2) 総点検シートの変更点

①「事業の効率性」の点検項目を追加

(例) 施設利用者一人当たりのコストを算出

②点検項目を抜本的に見直し

(i) まず「廃止」を検討

(ii) 廃止できない場合、「休止」「縮小」「効率化」を検討

(iii) 「3密などのコロナ対応」の観点から検討

(3) 3副市長による点検

財政運営が厳しくなることが想定される中、客観的・大局的見地から抜本的な見直しを進める。

(4) シート公表時期

シート(1)	基本情報、事業概要、投入量	8月下旬公表
シート(2)	評価(測定・分析)	
シート(3)	今後の事業のあり方の点検	11月頃公表(予定) ※予算要求シートと同時公表

(5) 職員提案

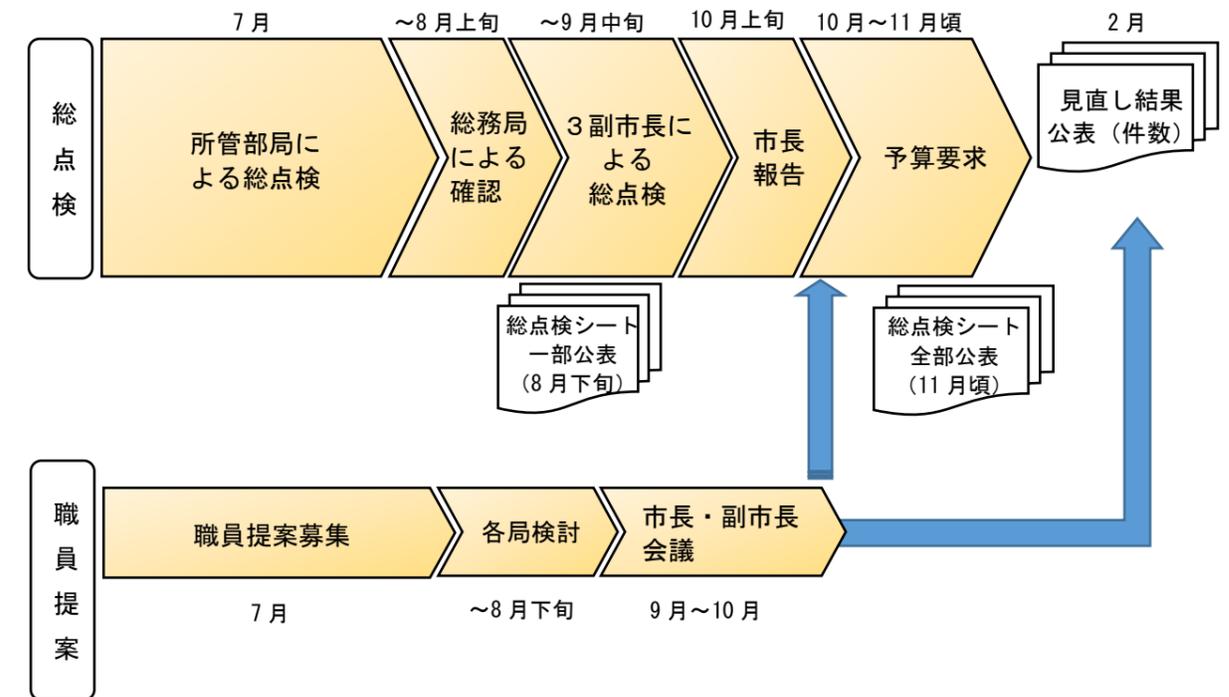
①募集時期(予定)

6月下旬から7月下旬

②実施の流れ

職員から提案された案件について、各局で検討した後、「市長・副市長会議」において対応の方向性等を審議。

3 スケジュール



4 その他(「ICT活用」「戦略的広報」の視点からの見直し)

➢限られた経営資源の中で、市が実施する事業について、費用対効果の最大化をめざす必要があることから、ICT活用・戦略的広報の視点からも見直しを着実に進め、令和3年度当初予算要求に適宜反映。

